

# 夏川りみ 感謝の気持ちを忘れずに



町田市民ホールで開催された夏川りみさんのコンサートで、優しく語りかけるような透き通った歌声に心から癒されました。まるでカリオペ（歌の女神）のようでした。そんな夏川りみさんと町田のエイサーチーム「町田琉」5代会会長の青木健さんに、コンサート後に対談していただきました。

## 陽気な沖縄音楽

青木 ぼくは「町田琉」の会長をしています。ぼくたちが沖縄の伝統的な踊りであるエイサーを踊るのは、沖縄で「沖縄全島エイサー祭り」を見てその華麗で勇壮な演舞にすっかり魅せられてしまったからです。沖縄って、歌も踊りも明るくて元気が出ますよね。沖縄出身の歌手やダンサーはとても多いですが、音楽や踊りが上手な血みたいなものが、脈々と受け継がれているのでしょうか？

夏川 私は本土にくるまでは、おじいやおばあはみんな三線が弾けると思っていたんですよ。沖縄の人はみんな音楽や踊りが大好きなんです。

青木 沖縄の曲は、歌ったり踊ったりしたくなりますよね。町田駅前では、毎年秋に「フェスタまちだ」という



お祭りが開催され、沖縄のエイサーの団体が踊るんです。ぼくたち「町田琉」は、「フェスタまちだ」で沖縄のエイサーを見て、自分たちもエイサーを踊りたくなり、10年前に出来た団体です。

夏川 5年前の私の町田市民ホールでのコンサートでは、エイサーを踊ってくれましたよね。

青木 夏川さんのコンサートというところでとても緊張しました。でもすごく楽しく踊らせてもらったのを覚えています。

ています。

夏川 町田の方たちは、いつもとても暖かく迎えてくれるので、気持ち良く歌えます。

## 感謝の気持ちを伝えたい

青木 友達とみんなで歌ったり踊ったりするのと、歌手として歌うのとでは違いますよね。歌手になられたきっかけは、なんだったんでしょうか？

夏川 物心ついた頃から歌うのが大好きだったんです。父はそんな私のことが